

# 始筆

No. 2

令和 8 年 2 月 2 日  
京都市小学校書写教育研究会

## 【令和七年度 京都市小学校書写教育研究会 実践公開授業】

令和七年十一月二十八日(金)に、実践公開授業を行いました。公開授業を行った学校の教職員の方々や他校からも多数ご参会いただき、本研究会の取組についても報告することができました。

五年生の毛筆学習「穂先の動きと線のつながり」という単元を扱い、その導入として「知りたい 文字の世界『平仮名のもとになる漢字』」を教材に位置付けました。今回は、三時間構成のうち、第二時の学習を公開しました。



第一時では、平仮名は漢字をもとにしてできたこと、もともとなった漢字の形を意識しながら書くことで、字形が整うことを学習しました。また、硬筆学習の中で、次時への試書を兼ねた小筆型水書用筆を取り入れた学習を導入し、硬筆と毛筆のつながりを意識できるように学習を進めました。

第二時(本時)では、毛筆書写「あこがれ」を教材文字として扱い、平仮名特有の「結び」や運筆中の穂先の動き、線と線のつながり(筆脈)を意識して書く学習を行いました。児童は既習事項を生かして基準を自分の言葉で確認し、その中から自分の課題に応じた練習方法を児童が自己選択し、主体的に学習に取り組んでいました。

今回の授業では、既習事項の定着とスパイラル効果を丁寧に整理し、年度当初から他教科とのカリキュラム・マネジメントを踏まえて年間単元計画を立てました。その結果、児童は言語表現や活動の見通し、振り返りの視点などを意識しながら各単元に取り組め、学習を円滑に進めることができました。

また、学習の充実を図るため、半紙の工夫や水書用筆の活用、ICT機器を用いた学習支援ツールも取り入れました。半紙を縦半分に切ったものを用意することで、児童が自分の課題に焦点を当てて練習しやすくなりました。さらに、穂先の動きが視覚的に分かるシートを添えた水書用筆による練習を行い、墨汁では見えにくい穂先の動きを体感できるようにしました。児童は、基準確認し、試書を見返して自分の課題を色分けされた番号で示しながら、適切な練習方法を選択して取り組みました。支援が必要な児童には、基準が明確になるようにくり抜き、ラミネートシートを用いた水書の方法も試行しました。



これらの支援のポイントは、「特別な準備ではなく、誰もが用意しやすいもの」であるということです。特別なメソッドが必要なのではなく、どの学校でも取り入れられる支援方法を目指してきました。

研究協議会では、本時に関する意見だけでなく、「左利きの児童への指導方法」や「日常の書字をどこまで指導すべきか」といった日頃

の書写指導に関する質問もあり、これまでの書写研の研究成果をもとに回答させていただきました。高田指導主事から貴重な指導助言もいただきました。詳細な議事録も作成しておりますので、興味のある方は、ぜひ、お声かけください。

第三時では、児童にとって初めて四文字教材を扱い、文字の大きさと行の中心を意識した「配列」に注意する学習を進めました。今後、学習する単元である「書き初め『世界の国』」や「学習のまとめ『考える子』」にもつながる内容であり、「余白」「行の中心」「配列」といった語句を用いながら、用紙全体を広く見る力を育みました。

硬筆を含め、週に一時間程度の学習時間の中で、単元目標や評価基準を満たし、毛筆の運筆技能を養うことは確かに難しいと思います。しかし、毛筆による運筆技能の定着は、硬筆の書字スキルの向上にもつながると考えられており、根気強く指導することで少しずつ力が身に付いていきます。改めて毛筆学習の意義を確認し、書写学習を通して、児童個々の癖を修正しながら、今後の日常に生かせる書字力の育成に取り組んでいきたいと考えています。

## 【京都市幼児・児童・生徒作品展 姉妹都市交歓作品展】

令和七年十月一日(水)～五日(日)に、京都市京セラ美術館別館におきまして、「京都市幼児・児童・生徒作品展 姉妹都市交歓作品展」を開催いたしました。代表幹事の先生方、集結校の先生方をはじめ、各校の多くの教職員の方にお世話になりました。本当にありがとうございました。

## 【第九十五回京都市小学校児童書書き初め展】

令和八年一月十七日(土)京都市総合教育センターにおいて、『第九十五回京都市小学校児童書書き初め展』を行いました。今年度も各校の特選作品と当番校の育成学級の作品を展示し、七百名を超える来場者でした。嬉しそうに作品をご覧になる皆様の顔を見て、会場にいた研究会員一同、たいへん嬉しく思いました。ご指導、そして、展覧会準備にご協力いただきました多くの方々に深く御礼申し上げます。また、冬季休業中に、各校に特選と入選の賞状を送付しました。賞状を間違えないように、早めに児童にお渡しください。



☆教職員研修支援 SMART PORTAL ↓京都市総合教育センター  
↓教育研究団体 ↓小学校 ↓京都市小学校書写教育研究会  
<https://skc-cms.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/>

※本ホームページ内には、他にも硬筆学習指導で有効な道具等も紹介しています。(検索『京都市書写教育研究会』でもアクセスできます。)

この機関紙「始筆」の書体は、UDデジタル教科書体です。児童が目にする文字は、できるだけ正しい書体にしましょう。